安心のネットワーク
NOSAI
香川県農業共済組合

そらとつちとみどりの会話

NOSAI かがわ

2019
7月
vol.38

第7回 通常総代会を開催
役員 総代 評価会委員紹介

未来につなげるNOSAI運営

第７回 通常総代会を開催

第7回通常総代会を5月27日、サンメッセ香川＝高松市林町＝で開きました。任期満了にともなう改選で就任した総代201人の中から、議長にさぬき市鴨部の松岡義寛（まつおかよしひろ）総代が選出され、議事に入りました。提出した2018年度事業報告書や2019年度事業計画など、全15議案が慎重に審議され、すべて原案どおり可決、承認されました。

2019年度事業計画と運営の基本方針

近年、農業・農村を取り巻く環境が大きく変化する中、NOSAIは、その変化に対応するため数多くの改善・見直しを行いつつ、国の農業災害対策の柱として、共済金の支払いなどを通し、農家の経営安定と農業生産力の維持にその役割を果たしてきました。また、大幅に改正された農業共済制度と、チャレンジする農家を支援する収入保険制度の導入で、これまでの農業災害対策に加え、農家経営の発展を支援する役割も担うことになりました。

農業共済制度では、制度の適正な運営に一層努めるとともに改正内容を丁寧に説明し、自然災害への〝備え〟の重要性の理解を広げ、幅広い加入に全力を尽くします。

収入保険制度では、野菜、花卉（かき）など、これまで農業共済の対象外だった農業経営体へ加入推進するため、行政や関係機関、農業生産者団体などと連携・協力し、組合の総力を挙げて取り組みます。

役職員は、農家が保険を選択する際、その希望に沿った適切なアドバイスができるよう、農業保険制度に加え税務など幅広い知識を身に付けます。また、これまで以上に農家へ足を運び、無保険者を出さず、全ての農家にセーフティーネットを提供できるよう、基礎組織の方々の協力も得ながら農業共済制度と収入保険制度の加入推進に取り組むこととします。

組合運営では、引き続き、コンプライアンス態勢の整備・強化、内部監査の実施などガバナンスを強化し、適切な業務運営を行います。

今後も農家戸数の減少が見込まれる中、将来にわたり安定的で継続的な事業実施に向け、業務の効率化や損害評価体制の在り方の検討を進めます。組合員との信頼関係をより強固にするため、NOSAI青年部との接点強化をはじめ、未加入農家への戸別訪問を行うなど、「より広く、より深く、農家のもとへ」を行動スローガンに、さらなるフィールド活動に努め、全事業の引受拡大に取り組むものとします。

（総代会議案から抜粋）

提出議案

第1号議案 2018年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案の承認について
（4面に関連記事）

第2号議案 2019年度事業計画並びに業務収支予算書（案）の承認について
（4面に関連記事）

第3号議案 2019年度事務費等賦課額、賦課方法及び徴収方法の承認について
事務費賦課金総額／5億5,655万円
賦課方法及び徴収方法／共済目的別に、共済掛金と同時に徴収する

第4号議案 役員・顧問、損害評価会委員等の報酬及び損害評価員、共済部長手当の承認について
合計／8,459万円以内

第5号議案 役員退任慰労金の承認について
合計／566万円以内

第6号議案 借入金最高限度額等の承認について
借入金額／10億円以内
借入先／農林漁業信用基金、香川県農業協同組合、百十四銀行

第7号議案 余裕金の預入先金融機関の承認について
香川県農業協同組合、香川県信用農業協同組合連合会など7金融機関

第8号議案 2019年度無事戻し金の支払額の承認について
建物共済　4万7,500戸　3,250万円以内

第9号議案 家畜共済勘定の法定積立金及び特別積立金の家畜診療所勘定への繰入額の承認について
今年限りの特例措置で、家畜診療所の累計損益を基にした1億9,000万円を、家畜共済勘定の法定積立金と特別積立金から家畜診療所勘定に繰り入れるなど

第10号議案 損金計上の承認について
水稲共済未収金の損金計上
未収共済掛金／1万6,365円
未収賦課金／1万982円

第11号議案 香川県農業共済組合事業規程の一部改正の承認について
事業規程の附則内容を変更、新設

第12号議案 建物総合共済の連合会等保有責任部分の一部を全国連合会の再保険（保険）に付すこと及びこれに伴う基本契約書の変更の承認について
大規模地震等を想定し、連合会等保有責任部分の一部を全国連合会に保険するなど

第13号議案 損害評価会委員及び家畜診療所運営委員の承認について
損害評価会委員156人、家畜診療所運営委員4人の選任
（9～10面に関連記事）

第14号議案 役員の選任について
理事23人、監事3人の選任
（6～7面に関連記事）

第15号議案 附帯決議
決議事項中で、軽微な修正や変更の理事会一任

総代会とは、組合員の代表である総代が、理事から提出された議案を審議し、組合運営の方針を決める最高議決機関です。

- 総代総数 …… 201人
- 当日出席総代数 …… 193人
  - 本人出席 …… 148人
  - 書面議決書での出席 …… 45人
- 欠席総代数 …… 8人

議長を務める 松岡義寛総代

制度普及と事業推進に尽力

2018年度農業保険制度功績者等表彰

5月27日、高松市林町のサンメッセ香川で、18年度に事業推進で功績のあった共済部長や、農業保険制度の普及に貢献された基礎組織などを表彰しました。受賞者は次のとおりです。（敬称略）

全国農業共済協会長賞

18年度 任意共済事業推進功績者表彰

建物共済の部

三谷寿保（東部）
六車　勲（東部）
田中重光（高松）
勝見好美（高松）
西尾資佳（小豆）
仙場信重（中讃）
渡辺健雄（仲多度）
香川　基（仲多度）
森川敏博（三豊）
西山春夫（三豊）

仙場信重さん

農機具共済の部

対馬　忠（東部）
佐々木　貢（東部）

安西純男（高松）
谷口勝幸（高松）
弓木富王（小豆）
佐々木廣一（中讃）
石原　悟（仲多度）
加地　修（仲多度）
高岡新一（三豊）
前川尊夫（三豊）

佐々木廣一さん

「安心の未来」拡充運動 優秀基礎組織表彰

女性組織・青年組織等

NOSAI香川仲多度女性の会

仲多度女性の会代表
白川美智子さん

香川県農業共済組合長表彰

家畜共済の部

太田好彦（高松）
松原博文（仲多度）
景山晃男（三豊）
好川秀夫（三豊）

太田好彦さん

建物共済の部

佐廣秀美（東部）
山本義明（高松）
森田嗣洋（小豆）
髙島眞一（仲多度）
滝下茂樹（三豊）

農機具共済の部

飯田洋幸（東部）
山下正晃（高松）
矢野　豊（仲多度）
三野　優（三豊）

功績者表彰

第一号（基礎組織員）

多田邦男（東部）
岡谷善明（東部）
鎌倉茂雄（高松）
村尾貞雄（高松）
藤岡恒雄（高松）
府中　滋（高松）
平木英弘（高松）
木村竹夫（小豆）
横川辰雄（中讃）
三好勝正（中讃）
碣石秋雄（中讃）
稲尾和彦（仲多度）

横田健作（三豊）

飯田洋幸さん

小田仁志（仲多度）
宮川孝徳（仲多度）
岩本幸雄（三豊）
景山卓美（三豊）
岡部準市（三豊）
森川　実（三豊）
大西章夫（三豊）

森川実さん（写真右から2人目）

2018年度事業実績と2019年度事業計画

水稲共済

2018年度実績	
引受面積	1,223,448アール
共済金額	73億3,072万円
支払共済金	1,841万円
2019年度計画	
引受面積	863,000アール
共済金額	51億6,972万円

麦共済

2018年度実績	
引受面積	187,919アール
共済金額	8億867万円
支払共済金	6,287万円
2019年度計画	
引受面積	132,800アール
共済金額	5億7,652万円

家畜共済

2018年度実績	
引受頭数	51,578頭
共済金額	77億8,352万円
支払共済金	4億7,823万円
2019年度計画	
引受頭数	88,885頭
共済金額	82億2,015万円

果樹共済

2018年度実績	
引受面積	21,854アール
共済金額	3億8,322万円
支払共済金	2,800万円
2019年度計画	
引受面積	21,550アール
共済金額	4億1,934万円

畑作物共済

2018年度実績	
引受面積	3,750アール
共済金額	1,018万円
支払共済金	157万円
2019年度計画	
引受面積	2,800アール
共済金額	823万円

園芸施設共済

2018年度実績	
引受棟数	3,396棟
共済金額	42億8,478万円
支払共済金	2,407万円
2019年度計画	
引受棟数	3,651棟
共済金額	42億8,477万円

建物共済

2018年度実績	
引受棟数	97,311棟
共済金額	1兆2,219億7,180万円
支払共済金	2億6,501万円
2019年度計画	
引受棟数	93,754棟
共済金額	1兆1,771億1,726万円

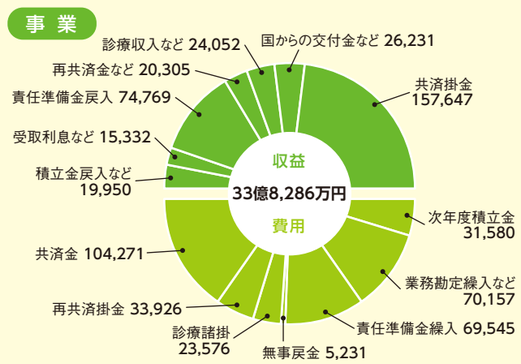
農機具共済

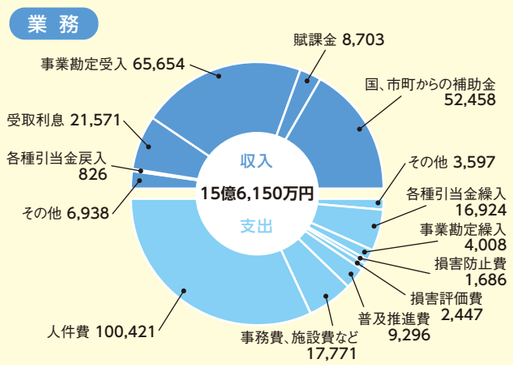
2018年度実績	
引受台数	21,351台
共済金額	508億6,445万円
支払共済金	1億6,455万円
2019年度計画	
引受台数	21,408台
共済金額	512億5,349万円

合計

	共済金額	支払共済金
2018年度実績	1兆2,934億3,734万円	10億4,271万円
2019年度計画	1兆2,470億4,948万円	

2018年度事業収支と業務収支（単位：万円）





新体制でスタート

5月27日の通常総代会で、理事23人、監事3人が選任されました。これを受け29日、正副組合長、代表監事の互選会を開き、組合長に近藤賢司理事、副組合長には鹿谷明弘理事、代表監事は滝川廣男監事が就任しました。任期は、6月4日から3年。

組合長理事

近藤 賢司（三豊）

◆組合長理事就任のごあいさつ◆

組合員とともに歩む組合に

役員の改選に伴いまして、この度、組合長理事の大役を仰せ付かることになりました。4万8千人余りの組合員トップに立つのは、身の引き締まる思いです。

急速に進む高齢化や担い手不足、増大する耕作放棄地など農業・農村の課題は山積しています。組合運営においても、年々、組合員数が減少する厳しい状況ですが、昨年から収入保険制度が始まり、これまで農業共済の対象外の農業経営体にも安心のセーフティネットを広げられることになりました。より組合員皆さまのためになるよう、充実した事業実施につなげてまいりたいと考えています。

また、現場の意見や要望を積極的に取り入れ、組合員皆さまの経営発展のために寄与しています所存です。

近年、全国各地で過去に例を見ない記録的、また局地的な天災が頻発し、農家経営に大きな打撃となっています。昨年7月の西日本豪雨は記憶に新しいところです。県内でも、昨年は気温や降水量、日照時間、ほぼ全ての項目がトップ10入りするなど、猛暑、大雨が相次ぐ、異常気象の1年でした。

このように過去に例を見ない自然災害が多くなる中、国の農業災害対策の基幹的制度としての農業保険制度の役割はますます重要性を増し、保険未加入農家を出さないことがNOSAIの使命と考えています。

NOSAI機能を十分に発揮するための普及推進、引受拡大に取り組むとともに、業務の効率化や適正な事業運営を図り、組合員サービスの維持・向上に努めてまいります。引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げ、就任のごあいさつとさせていただきます。

◆退任にあたって◆

前組合長理事
田中 孝博

在任中は、組合員皆さまのご支援とご協力で、スムーズな組合運営ができ、この度、無事に任務を終えることができましたこと、心から感謝を申し上げます。

この3年間、NOSAIは大きな変革を余儀なくされました。2018年4月から農業保険法が始動し、農業共済事業と収入保険事業の両輪で農家経営の安定に寄与しています。

この変革期に組合長として活動できましたことは、私にとって大変に貴重な経験になりました。役員は退任しますが、地域の活動を通してまたお目にかかる機会は多いと思いますので、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、組合員皆さまのご健勝とご多幸を祈念し、退任のあいさつといたします。

役員紹介

副組合長理事

鹿谷 明弘
（東部）

理事

間嶋 亨
（東部）

井上 英幸
（東部）

植村 隆昭
（高松）

宮武 正明
（高松）

佃 和幸
（高松）

南原 政樹
（高松）

藤澤 鶴夫
（高松）

古川 安則
（小豆）

冨木田 好正
（中讃）

井上 賀博
（中讃）

射場 洋
（中讃）

眞光 廣文
（中讃）

松浦 宏誠
（仲多度）

横山 孝信
（仲多度）

小亀 政裕
（仲多度）

滝口 英明
（仲多度）

石井 宏昭
（三豊）

石井 啓二郎
（三豊）

細川 和稔
（三豊）

小林 稔明
（三豊）

川下 肇
（三豊）

代表監事

滝川 廣男
（中讃）

監事

髙砂 清一
（高松）

千秋 保敏
（三豊）

役員　任期3年

理事は理事会を構成し、法令、定款、総代会の議決等に従って組合を運営します。

監事は、理事の業務執行状況や財産の状況を監査します。

総代　任期3年

6区域から201人が就任されました。毎年開催の総代会で事業計画や予算などの組合運営に係る重要な案件を審議します。
（敬称略）

東部

相生清治
亀井清治
引田中村邦夫
本町井戸元昭
白鳥水元修二
福栄原勤
五名村上芳生
誉水谷口光夫
誉水中野勇二
丹生佐藤誠治
丹生滝忠義
志度栗原孝敏
鴨庄野崎学
鶴羽栗尾和弥
鴨部松岡義寛
昭和眞國見春信
長尾有馬俊博
長尾安西原正明
造田松岡繁一
石田芳竹和政
石田藤井一昭
神前中山秀則
富田髙嶋寛

高松

富田飯田洋幸
松尾富田冨入道一士實
松尾入倉宮竹茂夫
平井植松清種
田中大森久信
田中多田康則
氷上森辺定善
神山渡辺俊秀
下高岡横山建一
井戸香西茂知
牟礼小西芳信
庵治松浦豊
十河池内義春
東植田上原一輝
東植田熊野寛美
西植田安藤のり子
川島川原理克
前田横井豊
川添宮武豊之
林宮地稔
林中村健二郎
三谷寺井正数
檀紙佃光廣
檀紙糸瀬博教
弦内松村憲夫
鬼無宮本正三
香西高畑松三
下笠居山下知己
下笠居是本文雄
仏生山林道義
多肥川部博夫
下笠居山下知己
一宮造田幸治
円座古川中
川岡横本昭
鶴尾橋本滋

小豆

高松栗林稲崎
太田多田久幸
木太葛西敬一
屋島谷口清志
古高松吉田春
女木男木高岸正
直島山口剛
浅野大村尾昭雄
川東上原勉
安原内海巧
塩江寺井三
上西藤谷口勝
池西本孝幸
由佐横井市
黒川道男
照雄
大鐸佐伯敏雄
北浦田中保久
豊島笠井人志
三都森口久士
草壁市坂勉
坂出横川辰雄
西庄乃村政清
進藤修平
林田請川正行
林田東山光徳
松山田中繁行
松山新谷豊敏
王越平田忠司
加茂小林英登志
府中平林
川津今川池良
宇多津谷川英昭
国分寺北部佐々木正明
国分寺北部竹本慧
国分寺南部久保宣仁
昭和鈴木章市

中讃

昭和野中邦夫
陶多田鎮雄
陶長柄敏文
滝宮細谷忠臣
滝宮岡田正照
羽床谷本利信
羽床上笹川定義
西分水原孝義
山田山口
山田大林徹
粉所土取小太郎
飯山南新居文夫
飯山南吉本隆雄
飯山北大林敏彦
飯山北建石照夫
岡田森正行
岡田籏岡正一
栗熊津郷憲一
栗熊原田時吉
富熊松永哲之

仲多度

土器平井一彰
飯野都築謙二
垂水辻誠
郡家平尾重夫
郡家庄野忠行
城南横井好
報徳林清
四箇亀井辰雄
白方高島哲雄
麻野長谷部利彦
麻野筒井浩一
上郷井上公男
吉田浮田正文
与北高木雅仁
龍川櫛田忠明
筆岡髙江男
吉原森正
造郷小野文誠
神野多田光博

三豊

吉野西
吉田丸
四条高鳥
長炭本義
長炭平井敏
長炭仁木久
長炭小野雄
高篠本多廣
長炭大西光
七箇小泉守
十郷山下
十郷増田耕
十郷森末美
美合尾郷信
十郷森明雄
造田湊川政
香高春英
詫間西宇輝
詫間安藤仁司
詫間野田雅文
荘内浅野正行
仁尾川江秀樹
麻杵寛壽
麻臼木邦夫
二の宮荒木正志
二の宮高木正
勝間近藤修次
勝間安藤正
上高瀬三好範
上高瀬成行全
比地二山脇幸雄
比地大東山謙治
上高瀬藤田哲
本山有
桑山近藤利
桑山三野友
比地大西山雄
勝間湯口秀和
二の宮須藤一昭
常磐中西幸範
高篠平本多敏
高室荻田豊二
常磐大西智昭
豊田高橋豊
柞田中村努
大野原高橋長
大野原大廣総一郎
大野原井下隆志
高篠大西昭夫
辻原和博
財田上篠原幹明
下高瀬三崎幸則
吉津山本明博

三豊（つづき）

一の谷石川郁夫
豊田豊田敏計
豊田大矢隆夫
粟井安藤文男
柞田岸上肇
柞田森川壽男
柞田大西正幸
柞田川原和
柞田糸川和男
柞田大西孝典
和田大廣修
和田有明優
大野原高橋秀和
大野原大空浩治郎
大野原安藤海洋
大野原矢野工司
紀伊吉田隆雄
萩原安藤雅範
五郷立石和久
木之郷高橋清二
柞田大西正幸
柞田森川壽男
柞田岸上肇
柞田安藤文男
柞田大野
辻秋山裕章
河内獅々堀伸一
神田安藤勝賛
財田上山崎徹
財田上岡崎清和
財田上尾崎博
財田中藤川純三
大見嶋田英司
大見滝口磐清
下高瀬磯崎正幸
吉津和泉正美
吉津福岡定信

損害評価会委員　任期3年

損害評価会は、共済事故に係る損害の防止や損害額の認定を行う法律上の必須機関です。
水稲共済部会など14の部会を設置、156人が共済目的ごとの部会に所属します。（敬称略）

2019年6月3日、損害評価会をマツノイパレス＝高松市香川町＝で開き、評価会委員156人の中から松浦克典氏（高松市宮脇町、65歳）が評価会長に互選されました。

評価会長就任のあいさつをする松浦氏

損害評価会会長　松浦克典
損害評価会会長代行　森末文徳

農作物共済

水稲・麦共済部会長　松浦克典
水稲共済部会長代行　森口憲司
麦共済部会長代行　金場正明

水稲共済部会
（※は麦共済部会兼務者）

本所

※松浦克典
※森芳史
※村上優浩
※大熊将夫
※平田雅規

東部

白鳥井戸等
福栄藤本護
鴨部岡田邦博
津田※植田義信
長尾藤原晴弘
造田※廣瀬隆雄
石田※廣瀬利美
富田※多田勉
丹生長町俊和
誉水※坂東正明
福栄藤本寛昇
鴨部※岡田博美
牟礼時岡繁樹
十河谷本幸明
西植田上原典
川島※片山典
前田瀧本
川添※森口憲司
三谷※三好隆

高松

平井茂中俊治
田中※多田孝夫
氷上※中川詰郎
井戸猪塚利一
牟礼坂井清照
十河坂本正春
西植田※大川政光
川島※米澤章弘
前田筆岡※大西康治
川添榎井※和田光順
三谷神野松村一

仲多度

土器川西川田郡家坂井清
麻野吉田米谷二
豊原城南横田敏文
※中野一郎
谷口英
郡家※山科郁夫
城南馬場繁美
羽床上岩岡和弘
羽床羽床田※岡内幸雄
山田※香川政大
飯山南※新居文夫
飯山北徳永光明
岡田※香川政大
栗熊※吉田一博
富熊内海康雄

中讃

檀紙弦打藤村芳信
檀紙糸瀬繁夫
一宮渡邊知行
円座※福田保富
太田片岡昇
川東※井上孝信
古高松※小河功
安原藤本博史
由佐※漆原吉正
二生※三木純二郎
大鐸※出水利明
小豆
坂出山下恭生
西庄※池内廣司
林田濱田実
宇多津谷川英昭
国分寺北部綾田正人
昭和池内静夫
滝宮馬場繁美
羽床※小西國雄
羽床上岩岡和弘
山田※岡内幸雄
飯山南※新居文夫
飯山北徳永光明
岡田※香川政大
栗熊※吉田一博
富熊内海康雄

仲多度

土器原正春
飯野坂井清照
郡家※山科郁夫
郡家横田敏文
垂水辻誠
城南谷口英二
報徳林清
麻野※中野一郎
白方高島哲雄
四箇亀井辰雄
麻野長谷部利彦
上郷筒井浩一
吉田井上公男
与北浮田正文
龍川櫛田忠明
筆岡髙木雅仁
吉原森江男
造郷小野文誠
神野多田光博

三豊

吉野西
吉田丸
四条高鳥
長炭本義
長炭平井敏
長炭仁木久
長炭小野雄
高篠本多廣
長炭大西光
七箇小泉守
十郷山下
十郷増田耕
十郷森末美
美合尾郷信
十郷森明雄
造田湊川政
香高春英
詫間西宇輝
詫間安藤仁司
詫間野田雅文
荘内浅野正行
仁尾川江秀樹
麻杵寛壽
麻臼木邦夫
二の宮荒木正志
二の宮高木正
勝間近藤修次
勝間安藤正
上高瀬三好範
上高瀬成行全
比地二山脇幸雄
比地大東山謙治
上高瀬藤田哲
本山有
桑山近藤利
桑山三野友
比地大西山雄
勝間湯口秀和
二の宮須藤一昭
常磐中西幸範
高篠平本多敏
高室荻田豊二
常磐大西智昭
豊田高橋豊
柞田中村努
大野原高橋長
大野原大廣総一郎
大野原井下隆志
高篠大西昭夫
辻原和博
財田上篠原幹明
下高瀬※三崎幸則
吉津山本明博

県内全域を見回り調査する評価会委員

果樹共済

かんきつ・ぶどう・なし・もも・かき・くり・キウイフルーツ共済部会長
森末文徳

かんきつ共済部会長代行
近藤敏晴

ぶどう共済部会長代行
大平俊和

なし共済部会長代行
川上益弘

もも共済部会長代行
建石照夫

かき共済部会長代行
柾木正春

くり共済部会長代行
木村薫

キウイフルーツ共済部会長代行
島田満沖

かんきつ共済部会
（※はぶどう、なし、もも、かき、くり、キウイフルーツ各共済部会兼務者）

本所
※森末文徳
※坂下亨
※中村裕彦
※筒井英樹
※末澤克彦

高松
鬼無 小林秀幸
下笠居 川原義明

小豆
池田 井上喜代文

中讃
松山 三宅司記
王越 濵崎郷廣

仲多度
吉原 法兼佐幸

三豊
紀伊 藤川寿夫
神田 近藤敏晴

ぶどう共済部会

東部
志度 池添浩子

高松
檀紙 山下薫

中讃
山田 大野宣行

仲多度
白方 田中喬
白方 山崎恭平

三豊
上高瀬 大平俊和
比地大 佐倉和弘

もも共済部会

東部
造田 飯田栄一

高松
屋島 木村啓三

中讃
飯山北 山崎全紀
飯山北 建石照夫

仲多度
十郷 黒田富夫

三豊
上高瀬 成行弘宣

かき共済部会

高松
由佐 穴吹隆明

中讃
昭和 三好達雄
昭和 柾木正春

仲多度
七箇 森藤義文

三豊
財田上 潤淵久嘉

くり共済部会

東部
五名 木村薫

キウイフルーツ共済部会

高松
下笠居 溝渕哲也

小豆
大鐸 佐々木邦久

仲多度
麻野 實原正信
吉原 島田満沖

三豊
桑山 矢野慎一

なし共済部会

三豊
和田 川上益弘
和田 横山清

畑作物共済

大豆・茶共済部会長
岡崎力

大豆共済部会長代行
三崎敏雄

茶共済部会長代行
大西徹野

大豆共済部会
（※は茶共済部会兼務者）

本所
※岡崎力
※大熊将夫
※岩井正直
※藤岡直人

東部
相生 掛橋實
志度 三崎敏雄
神前 中野正幸

高松
下高岡 三宅貞夫
川島 新谷雅志
大野 平木英弘

中讃
陶 福家隆

仲多度
与北 金崎大和
象郷 細川登

三豊
上高瀬 香川孝昭
河内 白川敏行

茶共済部会

高松
西植田 宮本照彦

仲多度
七箇 大西徹野
七箇 近石茂幸

三豊
二の宮 加渕信也

家畜共済

家畜共済部会長
澤野一浩

家畜共済部会長代行
十河琢巳

家畜共済部会

本所
澤野一浩
湊恵
松家芳実
十河琢巳
笠井博幸

園芸施設共済

園芸施設共済部会長
高島寛之

園芸施設共済部会長代行
細川邦彦

園芸施設共済部会

本所
高島寛之
丸尾勇治郎
澤野一浩
湊恵
松家芳実

任意共済

任意共済部会長
西田剛
松崎朝浩
細川邦彦
松浦裕之

任意共済部会長代行
天野勲

任意共済部会長代行
植谷洋一

任意共済部会

本所
天野勲
中村修
松本匠
植谷洋一
松浦裕之

家畜診療所運営委員

任期3年

家畜診療所の運営に関する重要事項を調査し、組合長に希望や意見を伝えます。（敬称略）

3つの割引加わる

園芸施設共済

園芸施設共済の農業者負担を軽減する三つの割引が、始まりました。今までのプランに加え、より自分に適したプランで加入できるようになります。共済に入ることをためらっていた組合員の皆さま、また補償を見直したい方、これを機にもしもに備えましょう。

① 集団加入でお得！

部会などの団体で一斉加入受付し、共済の加入割合が8割を超えると、共済掛金と賦課金が割り引かれます。**掛金は5％引き、賦課金は5人以上10人未満で10％、10人以上で20％引き**になります。

掛金は、最大で15％お安くなりますので、今まで、掛金が高いということで二の足を踏んでいた方にお勧めです。ただし、部会などの団体とNOSAIで、一斉加入の協定締結が必要になります。

② 古い施設を補償から除外可能に

耐用年数（パイプハウスで10年）を2・5倍以上経過した施設を、**補償から除外することができるようになりました**。今までは、所有する全ての施設を加入しなければなりませんでしたが、古い施設のみ補償から除外できるようになり、総合的な掛金を抑えることができます。

③ 施設の補強で15％引き

プラスチックハウスⅡ類のうち、骨格の主要パイプ径が31・8ミリ以上で造られている施設または同等の補強をした施設の共済掛金を、**15％引き**します。すでに施設を補強して共済に入っていない方、共済に入っているが補強はまだの方、施設の補強と共済、二重の備えをしてみませんか。

+α 小損害不塡補でさらに安く

小損害不塡補は、損害額が選択した金額を超える場合に支払対象となる制度です。現在、3万円コース、10万円コース、20万円コースがあり、**20万円コースを選択すれば、掛金は70％引き**になります。大きな災害には備えたいが、掛金が気になる組合員の方にピッタリです。9月から50万円と100万円コースが追加になります。

割引具体例　経営規模 50a

1. 掛金		割引前 約15万円(A)
① 一斉受付での集団加入		2,000円減
② 耐用年数を2.5倍以上経過した施設を補償から除外		約9,000円減
③ 施設の補強（太いパイプへの交換など）		最大5,000円減
+α 小損害不塡補（20万円コース）	70%減	105,000円減
※ 除外対象となる施設の設置割合（パイプハウスの全国平均）		割引後 2.9～4.3万円(A´)
2. 賦課金		割引前 約5万円(B)
① 一斉受付での集団加入	5名以上10%減 10名以上20%減	5,000～1万円減
		割引後 4.0～4.5万円(B´)
3. 総負担額		
割引前(A+B)		20万円
割引後(A´+B´)		7～9万円

※農林水産省試算

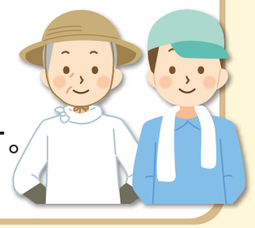
令和 新時代に 新しい収入保険

新しい時代に、新しい保険として、収入保険が今年から始まりました。**来年の加入手続きはすでに始まっています。**早目に連絡いただきますと、じっくりと検討して最適な選択ができます。今すぐNOSAIに電話しましょう！

収入保険の三大補償

経営安定を支える総合補償

- 自然災害や価格低下をはじめとして、**さまざまなリスクに対応**
- 品目の限定はなく**農業収入全体**を補償
- どんな時にも**一定の収入が確保**できます。



経営発展を助けるチャレンジ補償

- 新規作物の導入や輸出への取り組みなど、**新たなチャレンジへのリスクを低減**
- **規模拡大**分の収入も補償
- 安心して事業拡大できます。

経営評価を高める信用補償

- 収入補償で**対外的な信用力がアップ**
- 金融機関の**資金融通に有利**
- 保険加入で安心感もあり**人手の確保もスムーズ**

（収入保険加入を前面に出して求人を出すこともできます。）

連絡先（ご加入・お問い合わせ） 本所収入保険課 ☎087-899-8977

東部支所 ☎0879-43-4121
さぬき市大川町田面王子1の2

小豆支所 ☎0879-62-0694
土庄町大木戸沖甲5165の169

仲多度支所 ☎0877-62-5970
善通寺市与北町山下110

高松支所 ☎087-888-1146 0120-58-1148
高松市三名町東原5の6

中讃支所 ☎0877-46-1211
坂出市川津町金山1825の4

三豊支所 ☎0875-25-2482 0120-031-304
観音寺市本大町1378の3

加入者の声

攻めの経営サポートに

高松市牟礼町
よしよしアグリ株式会社
三好義範さん(40)
奈美さん(38)

今年5月に法人を立ち上げ、個人で契約していた収入保険を法人で加入し直しました。8割以上の収入を補償してくれるという安心感から、思い切ってチャレンジできます。

経営は露地野菜2・6ヘクタールが中心で、核となるキュウリは60アールを作付けします。昨年、試験栽培した「四葉キュウリ」を今年から本格的に取り入れ、一般では露地栽培の品種ですが、ハウス7アールで栽培にチャレンジしています。他の商品と差別化する取り組みに、ちゅうちょなく挑戦できたのは保険のおかげです。

今後は法人化した強みを生かし、本州方面に販路を広げていく計画でいます。その際、価格低下や取引先の倒産で代金回収ができないリスクもカバーしてくれるのは良いですね。

法人経営に必要な補償制度

まんのう町
農事組合法人ほのやま
理事 大西文昭さん(69)

2010年に法人を立ち上げました。現在は34人の構成員で、水稲9ヘクタールや小麦2ヘクタール、裸麦1ヘクタールと、まんのう町特産のヒマワリを2・5ヘクタール栽培しています。

ヒマワリは、町を挙げて取り組むため、作付けは欠かせません。しかしながら水稲共済や麦共済のように、ヒマワリを補償してくれる制度はありませんでした。

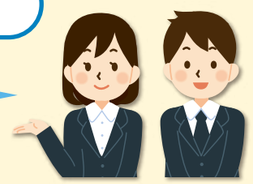
昨年は、春先の天候が悪く播種時期から不良なうえ、収穫時も台風でほぼ皆無となる苦い経験をしています。保険は使わない方がいいと考えていますが、昨年のような災害の備えとして農業収入全体を補てんしてもらえる収入保険の加入を決めました。

自然災害から価格低下まで補償してくれる収入保険制度は、法人を継続して運営していくためにも必要だと思います。

掛金のことで迷っていませんか？

収入保険に加入したいけど、自分には掛金が大きくて…

保険方式のみで加入すれば掛金を少なくできます！
分割払いもできますが、補償額に応じて掛金を少なく設定することもできます！
まずはNOSAIへご連絡ください！



（万円）

		基準収入	1,000	500	200
保険方式+積立方式	9割補償（従来の最大補償）	補てん開始収入金額	900	450	180
	支払率9割を選択	掛金・積立金等	32.5	16.5	6.9
保険方式のみで加入	8割補償	補てん開始収入金額	800	400	160
	支払率9割を選択	掛金等	9.8	5.1	2.3
	支払率5割を選択	掛金等	5.6	3.0	1.5

職員を募集します

※詳しくはホームページでご確認ください。

	一般職員	獣医師職員
採用予定人員	9人程度	3人程度
採用予定日	2020年4月1日	2020年4月1日
職務内容	農業保険法に基づく業務	家畜共済事業、家畜診療業務
勤務地	県内事務所	県内家畜診療所など
応募資格	①大学、短期大学(香川県立農業大学校を含む)を卒業または20年3月末までに卒業見込みの人 ②1989年4月2日以降に生まれた人(満30歳以下) ③パソコン操作(ワード、エクセル)ができる人 ④自動車普通免許(AT可)を取得している人または採用までに取得見込みの人	①1980年4月2日以降に生まれた人で獣医師免許を有する人、または本年度に実施される国家試験に合格する見込みのある人 ②自動車普通免許(AT可)を取得している人
応募方法	下記の書類を当組合本所総務課あてに郵送してください。 履歴書、成績証明書、卒業(見込)証明書	下記の書類を当組合本所総務課あてに郵送してください。 提出書類は、結果にかかわらず返却いたしません。 履歴書、成績証明書、卒業(見込)証明書、獣医師免許証
応募締切	2019年8月30日(金)必着	2019年7月31日(水)必着
選考方法	一次選考　書類審査 二次選考　筆記試験・面接(9月中旬実施予定)	書類選考、筆記試験、面接(8月下旬実施予定)

果樹共済

5月23日に共済金をお支払い

2018年産うんしゅうみかんといよかん、19年産指定かんきつは、9月の長雨や曇天の影響で、汚損・腐敗果が発生しました。

樹種	支払戸数	支払共済金
うんしゅうみかん	107戸	6,855,020円
いよかん	1戸	12,920円
指定かんきつ	14戸	491,440円

家畜共済

異動通知は速やかに

2019年1月から、新しい制度での引き受けが始まっています。

牛の場合、牛個体識別台帳(トレサ情報)に基づき、引き受けや共済金の支払いを行いますので、牛の異動等があった場合は、遅滞なく家畜改良センターに届け出をお願いします。一方、種豚や18年12月以前の牛の引き受けが残っている組合員は、従来通り組合に異動等をお知らせください。

建物共済

火災共済は落雷も補償

建物の「総合・火災」共済では、建物本体や家電製品などの落雷被害を補償しています。特に梅雨明け時は落雷が多発しますので、被害が発生した場合は、速やかにご連絡ください。なお、テレビやエアコンなど、複数製品が被害を受けている場合もありますので、全ての家電製品の状態を確認してください。

組合の主な動き

7月	5日	ぶどう現地研修会
	8日	共済部長協議会
	22日	第2回コンプライアンス委員会
	25日	第2回理事会、役員研修会、監事会
8月	5日	損害評価会麦共済部会
		水稲損害評価会委員打合せ会
	9日	損害評価会水稲見回り調査
	29日	第2回余裕金運用管理委員会
		第3回理事会

水稲の病害虫対策

育苗箱施用剤＋追加防除

近年は、長期残効型の育苗箱施用剤が防除対策の主流となっています。育苗箱施用剤はどのような病害虫に効果がある薬剤を使用したか、ラベル等を見て知っておくことが、今後の病害虫防除対策を考える上では重要になります。主要な病害虫をあげて説明します。

イモチ病は、冷夏の年や山間部の冷涼な地帯で発生が多くなる病気です。育苗箱施用剤は、葉イモチの発生期間は残効があるとされています。平地で葉イモチが確認されない場合は、追加防除の必要性は低くなりますが、常発地や気温が例年より低くて雨が多い年は、穂イモチ対象に防除を確実に行いましょう。

葉イモチと穂イモチ発生株。
上位葉に葉イモチが見られたら早急に防除

紋枯病は、育苗箱施用剤の紋枯病対象の成分が入っている場合、追加防除は必要ないので、穂イモチと同時防除としましょう。

海外から飛来するセジロウンカ、コブノメイガは、育苗箱施用で有効成分が入っていれば、通常年に追加防除の必要性は低くなっています。ただし、トビイロウンカは、収穫間際に急激に密度が高まるため、病害虫防除所が発表する情報を参考に、斑点米カメムシ類との同時防除を検討しましょう。

斑点米カメムシ類は、育苗箱施用剤に防除効果を期待することは難しく、出穂期以降、確実に防除しましょう。

(森充隆＝香川県農政水産部農業経営課課長補佐)

次号は「2018年被害状況まとめ」の予定です。

確定申告　青色専従者給与はいくらにすれば良いのか?

基礎知識

國村 年 くにむら みのる ＝ 國村公認会計士事務所、高松市木太町

奥さまなどに『青色専従者給与』を支払われている方で、いくらに設定すればよいかと悩まれる方も多いのではないでしょうか?

青色専従者給与とは、**「一定の要件を満たせば、親族に支払った給与が必要経費として認められる」**という制度です。

必要経費とできる青色専従者給与の金額は、青色専従者給与として所轄税務署長に届け出をしている金額の範囲内で、労務の対価として相当と認められる金額になります。

具体的には、以下のような状況に照らし、総合的に勘案して決定することになります。

①労務に従事した期間、労務の性質やその提供の程度
②その事業の種類と規模、収益の状況
③その事業に従事する他の従業員が支払いを受ける給与の状況、および同種の事業でその規模が類似するものが支給する給与の状況

よって、金額の多寡のみによって判断するわけではなく、例えば、まったく仕事に従事していない方は、少額であっても必要経費とすることができないということになります。

なお、届け出の金額は上限額を意味し、超えてしまう場合には変更届の提出が必要になりますので、少し余裕を持った額で届け出ておくことをおすすめします。

給与を増やす場合、支給する前に、理由を付した届け出を行えば、問題ありません。

次号のテーマは「消費税の軽減税率制度とは?(その1)」

乾田直播栽培で省力化

小豆島町 米米クラブ

小豆島町二面地区の「米米クラブ」（1999年設立）では、2000年から「乾田不耕起直播栽培」（以下直播栽培）に取り組む。代表の大下保さん（70）は「標準的な栽培に比べ9割ほどの収量と聞いて始めましたが、作柄の悪い年でも標準ほどの収量が取れています」と話す。

直播栽培は、田んぼを耕さず水も入れずに直接、専用の種まき機で水稲の種子をまく方法。この方法だと面倒な冬場の耕起や代掻き、育苗作業が必要なく、作業は五分の一程度に省力化できるという。専用の種まき機の価格は50万円前後で、同クラブでは共同で購入した。

直播栽培初年度、メンバーの三木純二郎さん（69）は、収穫した「ヒノヒカリ」を、郡内良質米コンクールに出品。収穫量、品質、食味が優れているとして、最優秀賞を獲得した。「この受賞は、今も大きな励みになっています」と話す。

同クラブに農地を任せている山元誠徳さん（86）は「年をとって稲作がつらくなった。休耕しようと思っていましたが、米米クラブができたおかげで安心して田を任せられ、助かっています」と話す。

当初は、兼業農家5人で発足した同クラブだが、今は専業農家となった者も含め7人で活動をしている。面積も、1・1ヘクタールの作付けから2ヘクタールにまで増えた。今年、ほとんどに品種「ミルキークィーン」を作付ける。

大下代表は「直播栽培は、高齢化、担い手不足などで増加する休耕田対策として注目されています。地域の農地を守るため、これからも仲間と直播栽培で地域に貢献していきたい」と話す。

メンバーは、年一回、家族ぐるみで行く懇親旅行を楽しみにする。

地表から深さ3センチの地中にモミをまき、自動で土をかけていく専用の種まき機での作業

良質米コンクール最優秀賞の賞状を手にする三木さん

米米クラブのメンバー。（写真前列右端が大下代表）

初の試み メロンにチャレンジ

さぬき市寒川町 長町きよみさん（69）

今年、タカミメロン2・5アールの栽培を始めた長町きよみさんは「思っていたよりはるかに大変で難しい」と話す。

作るきっかけは、離農によって使われなくなったハウスが手に入ったこと。畝を作って約100本の苗を定植、試行錯誤しながら管理している。中でも、芽かぎには毎日1時間程度の時間を割く。「大変な分、おいしく仕上がってほしいですね」

経営＝水稲250アール、ブロッコリー100アール、オクラ5アールなど

初収穫を楽しみにする長町さん

おいしさを求め有機栽培

丸亀市土器町 山本有太さん（40）

自社産野菜をパウダーにして販売するなど、加工にも取り組む

「おいしいと喜んでもらえる野菜作りを心掛けています」と話すのは、丸亀市土器町の山本有太さん。2015年の就農と同時にBlue farmを設立し、年々、業績を伸ばしている。

経営は、ハウス16アールでコマツナを周年栽培しながら、露地でタマネギ30アールなどを栽培する。販売先は全て独自で開拓した。「自分の作った野菜を気に入っていただきありがたいです。契約にはたくさんの方にお世話になりました」。現在、京都の卸売業者や飲食店など約8カ所と直接取引する。

18年夏には通販サイトを立ち上げ、消費者に直接販売できるようにした。「SNSの反響は大きいと思います。もっとこまめに情報を発信し、売り上げを伸ばしていきたい」

https://bluefarm.ocnk.net/
ホームページのQRコード▶

囲碁が人生の一部に

坂出市江尻町 山下恭生さん（74）

共済部長歴8年

日本棋院から贈られた扇子を手に碁を打つ山下さん

「囲碁は生活習慣のひとつとなっています」と話すのは、囲碁歴30年余りの山下恭生さん。午前中は畑仕事で、午後から碁会所に行くのが日課だ。

囲碁の魅力を、「ゆったりした展開で、多くの攻め方を試せるところ。実力差のある相手でも、置碁（おきご）というハンディで勝負できます」

今年2月、囲碁団体の『日本棋院』から四段の認定を受けた。「段位はうれしいですが、それにとらわれず、これからも対局を楽しみたい」と話す。

表紙の続き

農業は挑戦とデータが重要

三豊市高瀬町の大森政博（おおもりまさひろ）さん(71)は、ブドウ栽培17年目。「ピオーネ」や「シャインマスカット」など35アールを、妻の淑子（よしこ）さん(68)と2人で経営しています。

栽培面では試行錯誤しながら、さまざまなことに挑戦してきました。「植物は日光と水、炭酸ガスの三つが大事」と、毎日、地温や二酸化炭素濃度などをノートに記録し、作業管理に役立てます。また、2月中旬から2カ月半ほど炭酸ガス発生機を作動させて二酸化炭素をダクトで送り、実の肥大や色付きを促進させます。

堆肥は10アール当たり5トン投入し、乳酸菌と糖化菌あわせて8種も入れます。肥沃な園地にはミミズが大量に発生し、それを目的に侵入するモグラの被害対策が課題です。

「先人達が築きあげた知名度をさらに上げるよう、見た目に加え、香りやコクに気品のある味を追求していきたい」と意気込みます。

収穫期の6月中旬から10月中旬は、早朝2時に起床し、前日に洗濯バサミで目印をつけた房を取ります。今年は6トンほどの見込みです。

ブドウに傘かけ作業をする大森さん家族

さぬきマドンナ SANUKI MADONNA

高松市 中田（なかだ） 梨賀（りか） さん(22)

地元の金融機関に勤めて3年目です。初めは窓口の信用担当でしたが、今年4月から渉外担当として外回りの仕事になりました。

環境は大きく変わり、勉強不足を痛感するばかり。顧客のニーズに対応するため、勉強に力を入れています。早く業務に慣れ、顔を覚えてもらえるよう、日々奔走しています。

ドライブや旅行が趣味で、このゴールデンウィークには大分温泉郷で、ゆっくりと仕事の疲れやストレスを癒やしてきました。おいしい物もいっぱい食べ、いい気分転換になりました。

農業共済新聞 2カ月間 無料購読できます

NOSAIの機関紙「農業共済新聞」には、新しい農業技術や農業者のアイデアなど、農家の皆さまのお役に立つ記事が盛りだくさん。発行は週1回で、1年間の購読料は4680円です。

2カ月間、無料で購読できる「お試し読み」から始めてみませんか？

今なら、四国の特産品などが当たるプレゼント企画（7月1週号と11月2週号で実施）にも応募可能です。くわしくは各支所にお問い合わせください。

お試し読みにお申し込みいただいた方には、「もっとおいしく干し野菜」の冊子を差し上げます。

〒761−8083 高松市三名町東原5番地6
香川県農業共済組合 NOSAIクイズ係

◀宛先としてハガキに貼って活用してください。

NOSAIクイズ

たくさんのご応募お待ちしています。

正解者の中から抽選で**7人**の方に、
田中さん（綾川町）の**新米「コシヒカリ」5kg**をお届けします。
たくさんのご応募お待ちしています。

今月のプレゼント

NOSAIかがわ38号からの問題です。

Q 収入保険には保険方式と積立方式があります。基準収入が500万円の農家が保険方式のみで、支払率5割を選択した場合の掛金はいくらかお答えください。

○万円

※ヒントは13ページ

郵便はがきに、
①クイズの答え②郵便番号③住所
④氏名（ふりがな）⑤年齢⑥電話番号
⑦NOSAIや広報紙への意見、感想、質問
⑧身近な情報
――などをご記入のうえ、ご応募ください。

※応募によって得られた個人情報は、賞品の発送と今後の広報紙作成の参考意見とする以外の目的に利用しません。

応募の宛先
〒761−8083 高松市三名町東原5番地6
香川県農業共済組合 NOSAIクイズ係

応募締め切り
2019年8月20日（火）消印有効

当選者発表
2019年11月発行予定の40号で発表

第36号 当選者発表

答え ななつぼし

《当選者》「手作りみそ」900gをお届けしました。

小坂利明さん（東かがわ市）、石川進さん（さぬき市）、藤岡茂子さん、香西博さん、熊野あや子さん、辻明子さん（以上高松市）、佐伯千代子さん（土庄町）、池田忍さん（宇多津町）、来田芳子さん（坂出市）、白川静明さん（善通寺市）、宮武由起子さん（琴平町）、地藤良司さん（まんのう町）、香川孝広さん（観音寺市）、竹内勝徳さん、近藤美知代さん（以上三豊市）

読者の声

- 以前からクイズに応募したいと思いつつ今になりました。カラーで見やすい広報紙、毎号楽しみにしています。（さぬき市 女性 76歳）
- 80代の老人2人で、毎日楽しく、猫の額ほどの畑を管理しています。（綾川町 女性 81歳）
- 広報紙を配布していますが、毎回、喜んでくれる顔が見られてうれしいです。（まんのう町 男性 70歳）
- ツバメの巣作りを見て笑いました。几帳面な巣、やんちゃな巣と、人間と同じだなと思いました。（三豊市 女性 75歳）

前号を見てのご意見

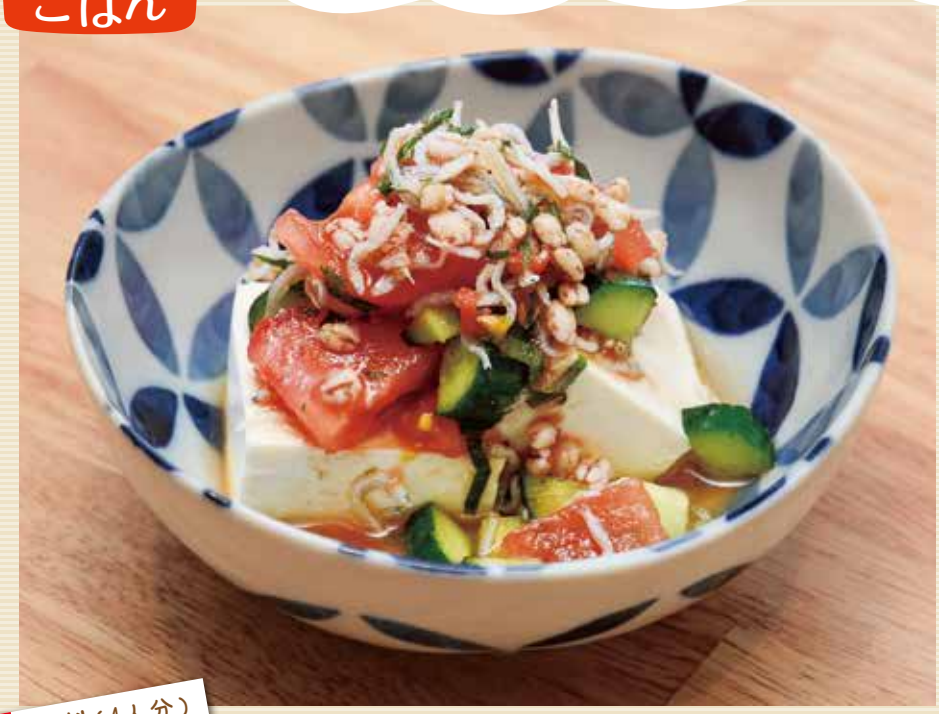
- 今回の確定申告基礎知識は、とても勉強になりました。すごく分かりやすく説明していただき、今後の確定申告時に役立てたいと思います。（高松市 女性 47歳）
- 巻頭記事の農業保険制度は、詳細な解説で理解が深まりました。（丸亀市 男性 68歳）

たくさんのお便りをいただき、ありがとうございました。

創作キッチン
プロのおうちごはん

ぷちぷちの食感がくせになる

もち麦と夏野菜のだしのせ冷ややっこ



今回の食材

もち麦

もち麦に多く含まれている水溶性食物繊維「β-グルカン」は、腸内環境の改善に役立ち、免疫力のアップにもつながります。

ヒトコト POINT

ゆで上がったもち麦の表面のぬめりには水溶性食物繊維が含まれているため、さっと洗う程度にしましょう。ゆでもち麦は容器に入れ冷蔵庫で保存すれば、3～4日はおいしく食べられます。

材料（4人分）

- もち麦 …… 20g
- トマト …… 2個
- キュウリ …… 1本
- ちりめんじゃこ …… 20g
- 大葉 …… 3枚
- 絹ごし豆腐 …… 1丁

A

- だししょうゆ …… 小さじ2
- オリーブオイル …… 小さじ1
- 酢 …… 小さじ1

料理紹介者
(株)農業工房 かべっこ
六車（むぐるま） 亜弥（あや）さん

作り方

1

もち麦はさっと洗い、たっぷりの水に入れ20分ほどゆでて水けを切っておく。

2

トマトは十字に切り込みを入れさっと湯通し。冷水に取って皮をむき、一口大に切る。

3

キュウリは縦4等分にし、さいの目切り。大葉は千切りにする。

4

Aと①～③の材料、ちりめんじゃこを混ぜ合わせ、絹ごし豆腐の上に盛り付ける。

ツイッターやってます！

季節の話題や農業共済事業などを発信していますので、フォローお願いします！！

@nos_kag

発行 香川県農業共済組合
編集 総務部企画情報課
〒761-8083 高松市三名町東原5番地6
TEL087-888-2121 FAX087-888-3031
ホームページアドレス
http://www.nosai-kagawa.jp

発行日:2019年7月1日